情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向&トピックス・7月

■シャツ製造業　【千葉県・東京都】

天候の影響もあり夏物衣料バーゲンが全体的に悪い感じ、また通常夏に強いアイテムも今年は弱い。秋物衣料の生産依頼も例年より遅いスタート。

■製材業　【木更津市】

ロシア材が6月に続き継続入荷。

■印刷　【千葉市】

5・6・7月も引き続き仕事不足。東京、茨城から中堅印刷業者が攻めてきている。千葉の業者はハングリー度が低い。

■生コン製造　【県内全域】

前年比の減少が続いており、4月から6月の第1の4半期は前年比96％と悪化している。年度トータルでも5％以上落ち込む可能性があり、大変厳しくなりそう。

■電気鍍金　【県内全域】

受注量は増加しているが、めっき加工材料等の高騰が続いている為と、それに伴う加工単価等の組上げが出来ないため、収益状況は悪化している。

■機械部品製造業　【野田市】

設備投資されて来ている。

■土砂採取業・採石業　【県内全域】

羽田空港D滑走路工事の埋立て事業が本格化した。この搬入に当たり、ダンプカーの往来が1日延べ1万台以上あることから、交通安全・環境保全に全力で取り組んでいる。なお、出稼ぎダンプの増大等事業進捗に伴い、一部事業においては、景気回復が見られる。

■建築材料卸売　【県内全域】

前年横ばいであるが、前年が落ち込んだ為であり、数量減少傾向は依然変わらない。

■自動車解体業　【県内全域】

新車販売が10％近く前年同月に比べ減少しており、廃車の発生は相変わらず極めて低調で推移している。一方でスクラップ市況は非常に活況を呈しており、玉の奪い合い状態が恒常化している。マテリアル中心の新規参入業者や、大手解体業者はオークションなどでの買いを強めており中小零細には厳しい夏となっている。

■小売　【柏市】

見切りに入った夏物衣料品に若干の動きはあったが低調であった。売り場は例年よりも早く秋冬物に変わりつつある。

■小売　【東金市】

初旬よりバーゲン開始。個店では、6月下旬より始めたところもある。

年々早まっているバーゲン開始により、山場をどこにもっていくかが各所色々になっている。中旬より天候が悪く暑い夏のイメージがなく、厳しい状況であった。ギフト関係商戦も中旬くらいまで需要があったが、やはり単価が微妙に下がっている。

■小売　【野田市】

中国産の食品が敬遠されている。商品を裏返して産地を確認してから、購入するお客さんが増えている。

■電気機器小売　【県内全域】

天候不順のため、エアコンの売れ行きが悪く、業界の市況悪化の要因となっている。

■中古車仕入・販売　【県内全域】

直販盛り上がり不足。ターゲット車種の不在。ユーザーの反応にも見るべきものが無い。全てにインパクト不足。ムード的にも盛り上がりを欠く状況である。

■農業機械販売整備　【県内全域】

平成18年の業果としての売上金額は前年比8％減。本年の1月から5月の集計では、前年比11％減。県内農家の年間の減少率が3・26％であるにも関わらず大幅な売り上げ減。行政の「集落営農化対策」により、ユーザーの「買い控え」が要因か？

■小売・サービス【習志野市】

不順な天候や台風・地震災害、更には政局の不安定さも影響してか、6月対比1％ダウン。昨年同月対比3％ダウン。

■小売・サービス　【銚子市】

今月は台風の影響、梅雨の影響による天候不順により、お客様の来客数が減少傾向にあった。

■建設揚重　【県内全域】

単価は若干上昇傾向にあるが、最近の燃料費の高騰で追い付かない状況にある。

■旅館業　【鴨川市】

オープンして20年、今年の7月が一番悪い。

■建設　【県内全域】

当連合会加入組合の国、県、市町村からの受注は5,860百万であった。これは前年比で300万円の増加となった。前年同月比でも1,367百万円の増加となった。要因としては、市町村と国の発注が増えたためであった。

■貨物運送　【野田市】

今月も軽油価格が上がった。これで3ヶ月連続の売上げである。相変わらず運賃の上昇は無い。